

2018年1月5日

## 市民生活に根差した「公共施設再編計画」の策定を求める請願 の採択についてのご報告とお願い

まちだ未来の会代表 菌田碩哉

あけましておめでとうございます。今年こそよい年となりますように。

皆さまにご協力いただいた「市民生活に根差した『公共施設再編計画』の策定を求める請願」は、昨年12月の町田市議会でようやく採択され、12月22日付で代表宛てに決定通知をいただきました。以下、その間の経緯を含めてご報告いたします。

### <請願項目>

1. 「公共施設再編計画」の策定に当たっては、積極的な情報公開を行うとともに、市民との意見交換等による合意形成のための十分な機会と時間を確保すること
2. 各施設の具体的な計画案、または見通しについて早急に市民に提示すること

この請願は1699筆の署名を頂いて2017年9月の市議会に提出いたしました。町田市議会では紹介議員がいないと請願を受け付けないルールということで、事前に各会派を回って紹介議員になることを依頼したのですが、各党派とも「検討をしてみる」というばかりで、結局、紹介議員になってくれたのは細野龍子議員（共産党）のみでした。

議会の総務委員会では上記の請願の1項については異議がなかったのですが、2項について反対意見がありました。それは1項で市民の参加を求めておきながら、2項ではすでに計画が決まっているのを前提にしているではないか、というもので、私たちにしてみればほとんど言いがかりのようなものです。趣旨説明の機会に縷々反論を試み、支持してくれた議員もいたようですが、結局、この請願は9月8日の総務常任委員会で継続審議となってしまいました。

12月議会で再度審議されるに当たって、原案のままだと不採択になる公算が大きかったので、世話人間で協議し、議員諸氏とも意見交換の末、2項を

2. 想定されうる各施設計画案、または方向性についてその都度市民に提示すること

と修正することを受け入れ、紆余曲折はありましたが、結局この案で12月22日の本会議において全会一致で採択されました。

請願は採択されましたが、これは市民の「お願い」を議会が聞き取ったということに過ぎず、行政に対してなんら拘束力があるわけではありません。今後も引き続いて私たち市民の主張を議会や市当局に訴えていく必要があります。

来る2月には市長選、市議選が行われます。これは4年に一度だけ、立場が変わって市長や議員が私たち市民に対して支持を「請願」してくれる貴重な機会です。この機を逃さず、私たちの主張を実行してくれる市長、議員を選びたいと考えております。

まちだ未来の会では、いま、市民の側から考えた「公共施設再編」のプラン（市への対案）を練っています。その案を踏まえて、来る1月21日（日）に町田市民文学館を会場に「市民版公共施設再編計画検討委員会」を別紙の要領で開催し、行政の担当者や各会派の議員諸氏に参加を呼びかけます。請願にご署名くださった市民の皆さまにもご参加いただいて、対案作りをともに詰めたいと思います。そこでの意見を集約して計画を練り上げ、改めて議会の各会派に市民案への意見を求める公開質問状を送る予定です。

当日の議論の展開や、その後の議員諸氏や会派の反応については、未来の会のブログやホームページ等で逐一公表していきます。2月の投票に関して判断材料にしていただければ幸いです。

いまの世相を反映するかのように、冷たい北風が吹きまくっていますが、私たちは町田の明るい未来をこの手で作り上げたいと熱く願っています。今後ともご支持、ご支援、ご協力のほど、心からお願い申し上げます。